

令和3年度 仙台市若林区区民協働まちづくり事業 企画事業
実績概要報告書（令和4年2月25日現在）

No.	事業名	担当課	ページ
1	若林区安全安心街づくり活動推進 モデル地区事業	区民生活課	1
2	若林区健康づくり区民会議	家庭健康課	3
3	六郷地区の健康づくり推進	家庭健康課	5
4	若林区民ふるさとまつり	まちづくり推進課	8
5	地域メディアの活用による 〈新しい地縁〉創造プロジェクト (ラヂオはいらん若林)	まちづくり推進課	10
6	若林区合唱のつどい	まちづくり推進課	13
7	若林区魅力発信事業 (若林わくドキまち歩き)	まちづくり推進課	15

※わかばやし区春らんまん、広瀬川灯ろう流し“光と水とコンサートの夕べ”は新型コロナウイルスの影響により中止（実行委員会への補助金の支出も無し）

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

区民生活課

2. 事業名

若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業

3. 事業の概要

安全安心の地域づくりを効果的に推進するため、モデル地区に指定するエリアを選定し、町内会（連合町内会・単位町内会）を中心に区内の学校や各種団体、区、警察などの機関が連携し、2ヶ年度にわたり事業を展開する。

令和元年度より実施するモデル地区については、薬師高砂堀通り周辺地域をモデル地区として防犯に関する事業を展開している。

4. 事業の目的・ねらい

仙台市安全安心条例に基づき、区・警察・消防などの関係機関が連携し総合的な支援を行い、区民と一体となって地域力を高めること、市民が安全に安心して暮らせる住みよい街の実現を目指すものである。

当該事業におけるモデル地区の指定については過去連合町内会単位で展開していたが、ピンポイントな地域のネットワークづくりを重点とした事業に注力するため、前回（平成29～30年度）からこれに捉われない地区選定を行っている。

当該モデル地区は、仙台市営地下鉄東西線の開発と並行して整備された薬師高砂堀通りを中心とし、会員の構成は周辺の町内会、防犯関係団体、学校機関が軸となっている。

同通りは本市が当該地下鉄の開業に合わせ施策した「東西線沿線まちづくり基本方針（改定）」において、地下鉄薬師堂駅前地区と若林区役所周辺地区が一体となり、当区を中心となる街区形成に必要なものと位置づけられている。また、当該地域は仙台市実施計画（H28～30）において、「若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業」として各種事業が実施された経緯がある。

一方、同通りは近隣学校の通学路に指定されているが、この間不審者事案が発生し、近隣の学校や町内会より防犯に関する相談や要望が当区に寄せられており、当該地域における防犯に対する不安や関心が高いものと思慮されることから、上記の街づくり、賑わいづくりの形成を土台から支えるものとして本事業を位置付け、当該地域において展開している。

5. 事業の成果・効果

本事業は、令和元年7月29日(月)に発会式、続いて令和元年10月28日(月)に第1回全体会議が行われ、年間活動計画の承認を得ている。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の現況を踏まえ、本来は2ヶ年度でモデル地区を終了するところ、書面表決により事業を令和3年度へ延期することとなった。

令和3年度は、6月23日(水)に「令和3年度 第一回幹事会」を開催、年間活動計画の承認を受けているが、新型コロナウイルス感染症の状況に注視しての取組みとなる旨で認識を共有している。

一定の取組みは実施したものの、年度後半において新型コロナウイルス感染症の影響が再びあり、防犯講座の中止など計画通りの実施は叶わない状況にある。

6. 事業費（決算額）

※見込額

報償費（講師謝礼）	0千円（防犯講座→中止）
消耗品費	515千円（各種啓発品、チラシ、活動用ゴム手袋）
印刷製本費	48千円（会報第2・3号）
食糧費	14千円（活動用、会議用お茶）

7. 実施状況

別紙 活動実績、会報、本区HP掲載記事資料のとおり

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年にわたるイレギュラーな取組みとなった。企画立案や地域課題解決のための諸会議の開催も憚られる状況にあり、事業の効果は残念ながら未消化となった感が否めない。

今後は次項に示す取組みにより引き続き対応を検討する。

9. 今後の事業の目標・展開等

次年度以降の展開については、「安全安心街づくり活動推進事業」と改め、過去モデル地区事業を展開した地域のフォローアップを旨とした事業を展開する。具体的には、3地区程度の地域団体（町内会、防犯協会、交通安全協会など）から課題や事業要望を聴取の上、啓発活動や各種講座を実施していく。

なお、これまでのモデル地区事業については、市民局からの配当予算により新たなモデル地区の選定、事業の展開を行う。

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

家庭健康課

2. 事業名

若林区健康づくり区民会議

3. 事業の概要

「仙台市いきいき市民健康プラン」の実施に向け、平成14年度に若林区内の市民団体や教育機関、関係団体で構成する「若林区健康づくり区民会議」を設置した。健康づくりの指針となる「若林区健康づくり行動計画」を策定している。現在、「第2期若林区健康づくり行動計画」のもと、区民協働の健康づくり事業として、健康づくりフェスティバルや健康づくり寸劇の制作・上演などによる健康づくり啓発を実施している。実施にあたっては、関係団体により構成されている委員と、若林区の健康課題の分析や区民が取り組みやすい事業展開について検討している。

4. 事業の目的・ねらい

「区民会議」と行政とが協働で区民の健康づくりの推進を図ることを目的とする。

5. 事業の成果・効果

若林区の健康課題を分析した結果を受け、令和元年度より重点項目に「高血圧予防」を掲げ、ライステージ毎での事業展開および重点地区の介入を会議で確認し、実施している。

令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区民会議の開催は中止とし、委員に対して書面にて活動報告を行った。啓発に関しては、コロナ禍で感染予防に配慮しながらの実施方法や媒体を工夫しつつ、区民会議での指針に基づいた健康づくりを実施した。また、区民会議の組織である「健康づくりフェスティバル」、および「健康づくり寸劇」の実行委員会を実施し、来年度に向けての事業の進め方について確認した。

また重点地区の六郷地区への介入は、六郷地区の健康づくり推進事業として実施した。

6. 事業費（決算額）

（見込額）

講師謝礼	6,000
消耗品	334,000
印刷費	200,000
食糧費	16,000
事務機器賃貸料	5,000
合計	561,000

7. 実施状況

実施時期	実 施 内 容
6 月	1) 第 1 回健康づくりフェスティバル実行委員会
7 月	1) 第 1 回健康づくり寸劇 劇団員交流会を実施 2) 第 2 回健康づくりフェスティバル実行委員会 3) 健康づくり寸劇 若林区オンラインまつり練習会・撮影会 (2 回)
8 月	1) 第 2 回健康づくり寸劇 劇団員交流会を実施 2) 第 3 回健康づくりフェスティバル実行委員会 3) 健康づくりフェスティバル オンラインまつり練習会・撮影会 (2 回)
10 月	若林区民健康ウォーク・ラジオ体操大会にて、わかちゃんどげんきくん体操を実施。
3 月	第 4 回健康づくりフェスティバル実行委員会予定

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

今年度は区民会議を開催できなかったが、R2 年度に推進部会の解消した旨の通知を推進部会委員の方に文書で実施した。また、区民会議の委員にも昨年度の健康づくりの事業の活動報告と今後の方向性について報告した。

重点地区の六郷地区への介入は、六郷地区の健康づくり推進事業として実施した。

特定健診等の小学校別の受診率等が今年度から見られるようになり、地域の全体像等を保健活動ブロック別に情報提供はしているが、小学校別、区全体の健康課題の詳細な分析までは至っていないため、今後、活用の仕方について工夫は必要である。

全般においてコロナ禍での啓発の仕方は課題である。

9. 今後の事業の目標・展開等

事業全体のテーマ（高血圧予防・減塩なのか、異なるテーマへシフトするか）を現在検討中である。事業を展開するためには、コロナ禍で広く波及させていくためや、委員の所属元でも取り組みを実施できるような媒体の作成や健康教育のパッケージ化を進めていく必要があり、今後検討していく。

コロナ禍の影響を鑑みながら、区民会議の開催時期を検討する。

特定健診の分析結果や KDB を活用し、地区保健活動と連動した区全体の健康課題の分析を進める。健康課題の分析は、地区保健活動ミーティングと連動させて行っていく。

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

家庭健康課

2. 事業名

六郷健康づくり事業

3. 事業の概要

六郷地区は乳幼児期・学齢期において肥満の割合が高く、青年期・壮年期においては健診の有所見者率や生活習慣病で治療している人の割合が高い地域である。区内でも健康課題の多い六郷地区において、生活習慣病やその予防について正しい知識を普及啓発し、住民の健康増進を図る。さらには区全体の健康増進につなげる。

4. 事業の目的・ねらい

六郷地区の住民が地域の健康課題を認識するとともに、自らの健康状態や生活習慣を振り返り、生活習慣改善のための自主的な取組を継続的に行うことができる。

5. 事業の成果・効果

六郷健康づくり推進事業は、令和3年度から5年度までの3か年を予定している。地域との健康課題を共有するにあたり、地域の拠点として事業展開し、また地域の関係機関とつながりを持っている六郷市民センターとの共有から始めた。

令和元年度には六郷市民センターの懇談会にて地域住民と地域課題の共有を図り、令和3年度には同市民センターの懇談会でワークショップを共催し、子育て関係機関や地域関係者を対象に、自分たちの所属や関係機関と連携できる取り組みについて考えた。

地域の健康課題を共有すること、自分の所属や地域で取り組む視点でワークショップを行うことにより、新たなアイデアや関係団体間のつながりが生まれ、その後の地区活動を進めるにあたりスムーズな協力が得られる等の効果もあった。

6. 事業費（決算額）

（見込額）

講師謝礼	24,200
消耗品	279,000
印刷費	220,000
食糧費	4,000
使用料	0
委託費	100,000
合計	627,200

動画制作のため、委託費へ流用
消耗品費 60,000 円
使用料 40,000 円

7. 実施状況

実施時期	実 施 内 容
7 月	1) 六郷健康通信を作成し、住民、関係機関等へ配布
9 月	1) 六郷小6年「体育」の授業で、生活習慣病予防について啓発。
10 月	1) 六郷市民センターと共催で、子育て関係機関を対象に健康づくりに関する懇談会を開催。 2) かあちゃんず、青葉短大と協働で六郷健康レシピを作成し配布。 3) 幼稚園の保護者会と共催にてウォーキングイベントを実施。 4) 児童館に学童対象のわかちゃんすごろくを配布し、生活習慣病予防の〇×クイズを実施。
11 月	1) 「六郷文化活動発表会」で健康に関するパネル展示を実施。 2) 六郷健康通信を作成し、住民、関係機関等へ配布 3) 沖野を含めた六郷の子育て関係機関へポスター・チラシを配布。 4) 六郷中2年「保健体育」の授業で生活習慣病予防について啓発 5) 尿中ナトカリ比・血圧を測定し、結果と今後の食習慣等を参加者へ還元。 (2 か所) 6) 六郷児童館で乳幼児対象に講話やワークショップを実施。0歳は離乳食、1歳は歯みがき、2歳はお弁当に関するテーマで実施
1 月	1) 尿中ナトカリ比・血圧を測定し、結果と今後の食習慣等を参加者へ還元。 (1 か所)
2 月	1) 学区体育振興会の会員を対象に、健康づくりワークショップを開催予定。→ 延期 2) 六郷健康レシピに関する動画を業者委託にて試行的に作成。
3 月	1) 六郷健康通信を作成し、住民、関係機関等へ配布予定。
通年	1) 健康意識に関するアンケートを作成し、地区活動の中で住民にアンケートを実施し、啓発チラシを折り込んだノベルティを配布。 2) 幼児健診の会場へ啓発ポスターの掲示と指導媒体を使用した保健指導を実施。 3) 児童館へ糖分量パネルの通年展示と1年間児童館だよりに啓発記事の掲載を依頼 4) 六郷にあるスーパーに食育レシピ、六郷健康レシピ、六郷健康通信を配架。店舗内の惣菜を活用したバランスメニューを掲示。 5) サロン支援（被災者健康支援）

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

<p>1. ワークショップの実施について、コロナ禍である環境要因に加え、地域のニーズが不透明であり、事前予約制等での集合形式が苦手な地域性でもあり、実施の仕掛が難航している。</p> <p>2. 紙媒体だけでなく、SNS等、インターネットを活用した啓発が必要であると考えている。現在ホームページに取り組みを掲載している他、せんだい tube への掲載に向けた動画作成を委託している。担当者が SNS 発信するには、機材の確保と、編集方法等を一から学ぶ必要があり、限られた時間の中で課題である。</p> <p>3. 他課、他係と組織を横断的に連携した取り組みは、地域や事業に対するとらえ方や進め方など、全員の合意形成を図ることに苦慮している。</p>
--

9. 今後の事業の目標・展開等

六郷健康づくり事業は、仙台市実施計画（令和3～5年度）に掲載しており、地区の全世代を対象として生活習慣病改善のための取り組みを継続して展開していく。

今回六郷地区で展開している事業を集約したが、盛りだくさんで、コロナ禍で延期になる事業もあったために展開することができた。限られた人員なので、事業の整理を行い、コロナの感染状況を鑑みながら柔軟に日程等を調整し展開する。

行政内や地域の関係機関と連携することで、区役所のみでの事業展開にとどまらず、生活習慣改善の取り組みが関係機関からも地域へ普及させていく。

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

2. 事業名

若林区民ふるさとまつり

3. 事業の概要

区民による実行委員会が主体となって、区民の総合的な交流の場を提供し、地域の交流推進と活性化を図る。区民の文化芸術活動の発表（ステージパフォーマンス、わたしの作品展、学校じまん）や地域資源を活用した企画（ザリガニ釣り、ザッコすくい、堀なか探検、伝統工芸館、弟子入り体験教室、若林の文化財展）、地元物産の販売などを行う。

→令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、たくさんの人が集まるイベントは感染リスクが高く、また十分な感染防止対策を講じることが困難であるとの理由から、2年連続の中止を決定。代替イベントとして「2021 若林区民オンラインまつり」を開催した。

4. 事業の目的・ねらい

若林区内における総合的な交流の場を提供することにより、区民意識の高揚や地域の活性化を図るとともに、区民協働によるコミュニティづくりを目指す。

5. 事業の成果・効果

■2021 若林区民オンラインまつり

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従来通りのまつりは中止としたが、代替イベントとして「2021 若林区民オンラインまつり」を開催。特設サイトを設け、大きく4つの企画で構成した。

- ①特設サイト上に、活動団体の発表と商店街等のお店のPRコーナーを作り、動画などをアップ
- ②若林区文化センターを会場に、パネル展の開催、特設サイト上の動画のパブリックビューイング開催
- ③区内の各施設、店舗にご協力いただき、スタンプラリー実施
- ④若林区文化センターホールで幼稚園・保育園の作品展開催

従来通りのまつりを開催出来ない中で、工夫して代替イベントを企画し、若林区の魅力を発信することができた。

6. 事業費（決算額）

※見込み額 2,528,321 円

7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和3年	
5月17日（金）	第1回実行委員会
6月23日（金）	第2回実行委員会
7月15日（金）	第3回実行委員会
8月6日（金）	第4回実行委員会
9月2日（火）	第5回実行委員会
9月24日（火）	第6回実行委員会
10月1日（金）～ 10月31日（日）	2021 若林区民オンラインまつり 特設サイト公開
10月1日（金）～ 10月29日（金）	スタンプラリー 開催期間
10月15日（金）～ 10月22日（金）	幼稚園・保育園の作品展 展示期間
10月17日（日）	パブリックビューイング開催（若林区文化センター）
11月2日（火）	第7回実行委員会
12月8日（火）	第8回実行委員会
その他班会議	
・庶務班会議 2回	・広報班会議 1回
	・特別企画班会議 5回

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

<p>オンライン開催は初の試みであったため、全てが手探りの状態であった。オンラインお店紹介に参加して下さったお店から、来客に繋がらなかったとの声もあり、周知・PRなどの広報が不足していたと感じる部分はある。また、今後従来通りのまつりが開催できた際に、オンライン要素をどの程度残していくのかは検討すべきところである。</p>

9. 今後の事業の目標・展開等

<p>新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、開催方法について適切な判断をし、その中で何ができるのかを考えて取り組んでいく。オンライン開催であれば、今年度の経験を生かし、よりたくさんの方が参加できるようなものになりたい。実地開催であれば、従来のような密集した中でわいわいとやるイメージではなく、人やモノを分散させて、少ない人数でも楽しめる新しい形のお祭りを作り上げていきたいと考えている。</p>

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

2. 事業名

地域メディアの活用による創造プロジェクト（「ラジオはいらいん若林」制作・放送）

3. 事業の概要

地域の魅力と情報を発信するため、区民スタッフがコミュニティFM（ラジオ3）の協力を得ながら、番組制作及び放送を行う。

4. 事業の目的・ねらい

区民とコミュニティFM放送との協働・連携による地域情報番組づくり及び区民に向けて公開放送を通して広く区民のコミュニティ意識を高め、さまざまな角度から地縁に対する再認識とともに進めるまちづくりへの気運醸成を図る。

5. 事業の成果・効果

今年度は、4回の全体会議を開催し、7月3日から3月26日まで18の放送番組を作成した。番組の内容は、地域で活躍する区民の紹介、商店街の活動等をはじめ、若林区やまちづくり協議会の行事について発信するなど、様々な角度から、まちづくりへの醸成を図るための番組制作に努めた。

広く情報発信を行うことで、区内のまちづくり活動を知るきっかけ作り、番組を通して地域や団体が繋がっていくための架け橋としての役割を果たせた。企画から取材、そして放送と番組制作の中で、区内で活動している様々な人と関わり、一緒にまちづくり活動を盛り上げていくことで、地域コミュニティの活性化に貢献できた。

6. 事業費（決算額）

847,638円（仙台市補助金 950,000円）（未確定）

委託料…847,638円

7. 実施状況

実施時期		実施内容			
5月19日	第1回全体会議	(7月～9月の放送内容の決定)、取材方法等の確認			
8月25日	第2回全体会議	(10月～12月の放送内容の決定)、取材方法等の確認			
11月25日	第3回全体会議	(1月～3月の放送内容の決定)、取材方法等の確認			
2月16日	第4回全体会議	1年の振り返り、次年度の企画に関する方向性等			
<ul style="list-style-type: none"> 放送期間：令和3年7月3日～令和4年3月26日 本放送：第1・第3土曜日午前10時～10時30分 再放送：第2・第4土曜日午前10時～10時30分 制作本数：18本 					
No.	放送日	テーマ	No.	放送日	テーマ
1	7/3 7/10	六郷東部の原風景 ～戦後の暮らし、街の様子を地元住民に聞く・前編	10	11/20 11/27	連坊オモシロ街あるき
2	7/17 7/24	六郷東部の原風景 ～戦後の暮らし、街の様子を地元住民に聞く・後編	11	12/4 12/11	若林わくドキまち歩き「七つの村の物語」
3	8/7 8/14	「沖父ちゃん会」 (まちづくり活動表彰団体の紹介)	12	12/18 12/25	六郷昔物語
4	8/21 8/28	ジュニアリーダーの活動	13	1/1 1/8	声の年賀状 ・まちづくり活動表彰個人 松木さん ・まちづくり活動表彰個人 丹野さん ・まちづくり活動表彰個人 木村さん
5	9/4 9/11	大黒屋製菓	14	1/15 1/22	加納こけし店
6	9/18 9/25	「2021年10月開催!若林区民オンラインまつり」	15	2/5 2/12	河原町の昔話
7	10/2 10/9	2021 せんだいわらアート ～青空かいほう!遊べる若林	16	2/19 2/26	のびすく若林
8	10/16 10/23	愛宕商栄会・河原町商店街 なぞときQUEST	17	3/5 3/12	震災遺構—荒浜小学校
9	11/6 11/13	貞山運河の舟遊びと文化祭	18	3/19 3/26	区民メンバートーク

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

<p>現在、毎週土曜日(第2及び第4が再放送)の10時から10時30分の時間帯で放送しているが(携帯やパソコンでも聴ける)、リスナーに関心をもってもらうためには、魅力ある番組づくりとする必要がある。しかしながら、番組テーマの制作は市民スタッフ数名の無償ボランティアで運営されており、取材先の発掘、交渉、訪問等に限界があり時間を要する放送テーマづくりが難しい状況である。</p>
--

9. 今後の事業の目標・展開等

今年度は、メンバー1名が新たに市民スタッフとして加わったが、これからも多方面で活躍している区民の新規加入を働きかけていきたい。

また、これまでの取材を中心とした番組編成に加え、新たな切り口による地域の課題やまちづくりの取り組み等について、リスナーの関心を引く魅力ある番組編成に務めていく必要がある。

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

2. 事業名

第28回「若林区合唱のつどい2021」 **中止** 令和3年7月3日（土）若林区文化センター

3. 事業の概要

若林区文化センターを会場として、区内の小学生から大人までが参加する合唱の発表会を若林区合唱のつどい実行委員会（合唱連盟わかばやしと若林区まちづくり協議会で構成）を組織し開催を予定していたが、令和3年4月に発せられた新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言、仙台市のガイドライン（生活の維持に必要なものを除く、全ての事業中止又は延期）等に従い、感染リスクの高い合唱のつどいは中止とした。

4. 事業の目的・ねらい

若林区文化センターを文化発信の拠点として、若林区内の小・中・高の合唱団や吹奏楽部、「合唱連盟わかばやし」加盟の団体等が参加し、合唱を主体とした音楽祭を開催することで、地域の方々との触れ合いや交流を図るとともに、地域文化活動の活性化を目指すものである。

5. 事業の成果・効果

新型コロナウイルス感染拡大防止から事業中止

6. 事業費（決算額）

0円

7. 実施状況

令和3年5月 第1回 運営委員会 令和3年12月19日（日）に延期を決定
令和3年8月 第2回 運営委員会 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言、仙台市の事業及び施設等の取扱いに関するガイドライン等により合唱のつどい中止

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、合唱活動に起因する飛沫感染等多くの問題があることから中止とした。令和4年度においては、感染防止策を講じ実施する方向で検討しているが、例年同様の開催は困難な状況である。

不特定多数の者が参加し、合唱活動を行うことは多くの感染リスクを伴うことから、公募により結成する区民合唱団「宙」の参加は困難であり、また小中高生の参加・事前練習・有観客等についても慎重な判断を行う必要がある。

なお、「合唱のつどい」の実行委員会の中心的役割を担っている「合唱連盟わかばやし」の高齢化が進んでおり、今後も継続していくためには、若年層の参画が必要である。

9. 今後の事業の目標・展開等

課題等を踏まえ、持続可能な取り組みを基本としながら、若林区内に存する文化活動の継承やまちづくり等のため、幅広い層に関心をもってもらえる働きかけが必要と考えている。

令和3年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会(事務局 若林区まちづくり推進課)

2. 事業名

若林区魅力発信事業(若林わくドキまち歩き)

3. 事業の概要

若林区への愛着や興味を促進させるとともに、地域の魅力を体感できるイベントとして、まち歩きを実施する。

4. 事業の目的・ねらい

若林区の歴史的な街並みなど、他区とは一味違う魅力を多くの方に知ってもらい、興味・関心を持っていただくためのまち歩きである。また、若林区内の方にも参加していただき、普段は気に留める事のない場所を歩くことで、新たな若林区の魅力を発見していただきたい。

5. 事業の成果・効果

今年度は、昨年検証したフィールドワークの結果を生かし、インカムを使用したことで、ガイドの説明が聞き取りやすくなり密を避けることもできた。例年に比べて開催回数は減らしたが、コロナ禍においても各回の申し込みが多く、抽選になるほど人気の企画となっている。昨年1年間、コロナ禍におけるまち歩きを検証し、その結果を生かして参加者が安心してまち歩きに参加できたことは成果だと考える。

6. 事業費（決算額）

110,900円（仙台市助成金 150,000円）（未確定）

イヤホン代…1,650円 保険料…3,600円 ガイド謝礼等…44,350円

7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和3年 5月13日	第1回 若林わくドキまち歩き企画会議
6月5日	第1回 まち歩き「旧奥州街道・荒町を歩く」
8月10日	第2回 若林わくドキまち歩き企画会議
10月26日	第3回 若林わくドキまち歩き企画会議
11月20日	第2回 まち歩き「七つの村の物語」
令和4年 1月18日	第4回 若林わくドキまち歩き企画会議
3月23日	第5回 若林わくドキまち歩き企画会議

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

ガイドが立ち止まる場面が多く要所の説明に絞れなかった点や、全体についていけず遅れてしまう参加者のために先頭が待つなど、間延びした時間があった。予め立ち寄るポイントを明確にすることで全体行程を引き締めたり、遅れた参加者のフォローを行うスタッフをつけるなど改善が必要だと感じた。また、リピーターが多いことから新規の参加者を呼び込みたい。

9. 今後の事業の目標・展開等

今後の若林わくドキまち歩きの存続と若林区の魅力を発信していくために、新規メンバーの獲得や外部団体との連携を行い、これまでと違った新鮮さを取り入れることで、より多くの市民が興味関心を引くコンテンツを創出していける事業にしていきたい。